



### 小鳥の森で観察してみよう 82

### ショウリョウバッタ

分類：バッタ目バッタ科

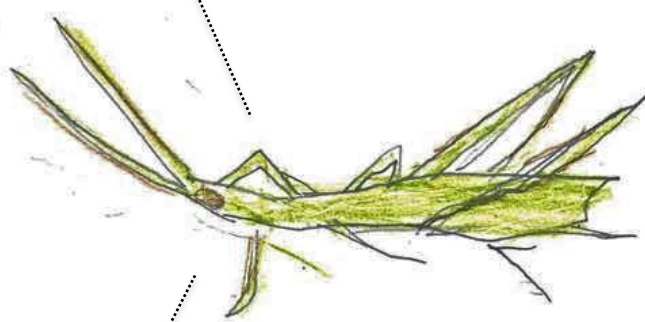
生態

- ・季節 7～11月
- ・オスはチキチキと鳴きながら飛ぶ

小鳥の森での観察

- ・観察広場、自由広場などの草地

前後に細長い体型



大きさ  
オス：約5cm  
メス：約8-9cm

みどりかわぜん

今回の絵は、みどりかわ ぜんさん(8さい)が描いてくれました。

## 10月の自然予報

10月にはいると、ショウビタキやツグミ、カモ類などの冬鳥が冬を日本で過ごすために北国から渡ってきたり、ルリビタキやミソサザイなどが標高の高いところから小鳥の森へ移動する時期になります。

鳥の渡りの時期はその年の気温やエサの状況で変わりますが、今年の秋は小鳥の森ではいつごろ冬鳥たちが訪れるでしょうか。



ショウビタキ

### 2017年10月に確認した野鳥

確認日	種	場所
10月1日	トラツグミ	小鳥の森
10月8日	ミソサザイ	小鳥の森
10月11日	アメリカヒドリ	阿武隈川
10月14日	マガン	荒川
10月15日	ピンズイ	小鳥の森
10月15日	シメ	小鳥の森
10月17日	ショウビタキ	小鳥の森
10月19日	コハクチョウ	阿武隈川
10月21日	アオジ	小鳥の森
10月25日	マヒワ	小鳥の森
10月25日	カシラダカ	小鳥の森
10月26日	クロジ	小鳥の森
10月26日	コガモ	小鳥の森
10月27日	オオハクチョウ	阿武隈川
10月27日	ベニマシコ	小鳥の森
10月28日	オシドリ	小鳥の森
10月28日	ゴジュウカラ	小鳥の森

## 9月の自然

秋の涼しさを感じる日が多くなり、9月中旬には秋の花が見ごろをむかえました。

トンボ池では船形の花をつり下げているように見えることが名前の由来であるツリフネソウが群れ咲き、たな田付近では花が野鳥のホトトギスの模様にたとえられているヤマジノホトトギスが咲いている様子を観察できました。



ツリフネソウ



ヤマジノホトトギス

9月にはいると、夏にさわがしく鳴いていたセミにかわってコオロギ類の鳴き声がよく聞こえるようになりました。

一口にコオロギと言っても、種類はたくさんいて、よく聞くと様々な鳴き方が聞こえてきます。秋がきたことを知らせてくれる音色に心がいやされた9月でした。



エンマコオロギ



タンボコオロギ

## 小鳥の森スタッフだより

森の中の怪奇現象 (かいぎげんしょう)

森の中を歩いていると2~3枚の葉と青いどんぐりをつけたコナラの枝先が落ちてきました。まわりを見てみると同じようなものがたくさん落ちています。実はこれはハイロチョッキリという虫のしわざです。この虫はコナラのどんぐりに穴をあけ卵を産むと、コナラの出す毒から卵を守るために、枝先を自分で切りはなします。その後、落とされたどんぐりの中で成長した幼虫は、どんぐりから出て、土の中でさなぎになります。そして、翌年成虫になると、どんぐりに産卵するために木にのぼります。

(レンジャー

ますぶちしょうた)

ハイロチョッキリ



## お山の大將あつまれ活動報告

9月2日に「お山の大將あつまれ！」を開催しました。今回のテーマは「釣りざおをつくって釣りをしよう！」ということで、釣りざおとウキは森から取ってきた自然素材を使い、自分だけの釣りざおをつくりました。その後、ネイチャーセンターの下にあるザリガニ池やお春沼で、それぞれ形も長さも違う釣りざおで釣りを楽しみました。子どもたちは、なかなか魚を釣ることはできませんでしたが夢中で楽しんでいました。



お山の大將あつまれ！の活動の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。  
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

\*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分~午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日 (祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年10月号No.393 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま